

事業概要【福島県観光誘客促進プロジェクト事業】

申請者	福島県ほか6自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,364,661千円(509,652千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	観光周遊施策の強化・充実を図ることによって、県内の観光客入込数だけではなく、観光宿泊者数の増加を図る。加えて、観光交流人口に留まらず、その先の移住・定住人口の増も見据え、まずは新型コロナや人口減少により低下するおもてなし力(観光受入体制)の強化を図り、「再び訪れたい福島」を創り、旅行者満足度の向上やリピーター増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○観光客受入体制の強化 ・デスティネーションキャンペーンのぼり等のPR素材の制作及び観光事業者等に対するおもてなし研修の実施(委託料)56,101千円 ○観光コンテンツの造成・強化 ・観光事業者等への専門家派遣による観光コンテンツの磨き上げの支援の実施。(委託料)12,100千円 ・新しい切り口での新規観光コンテンツ造成の支援(補助金)13,605千円 ○本県観光の魅力発信 ・インバウンド観光客を獲得するため、福島県ならではのストーリー性を持ったコンテンツの情報発信(委託料)39,144千円 ○観光客獲得、周遊促進 ・県内に数多く点在しているアートを切り口とした観光周遊の推進(委託料)20,812千円 ・広域周遊のための移動支援の推進(委託料)33,517千円					 キャッチコピー発表会	
地域の多様な 主体の参画	官民一体となって事業を進めていくため、県と市町村の代表(方部協議会)、観光団体、経済団体、交通団体などで構成される「福島県デスティネーションキャンペーン実行委員会」を立ち上げ、各種事業や方向性の調整等を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数(+5,000千人) ②県内宿泊者数(+800,000人泊) ③観光消費額(宿泊)(+30,000百万円)

※福島県、福島市、郡山市、喜多方市、伊達市、檜枝岐村、玉川村の広域連携事業